

二酸化炭素を吸収する



- 樹木は光合成によって大気中のCO₂を吸収して幹などに蓄えます。
- 適切に手入れされている36～40年生のスギ人工林は1ヘクタール当たり約302トンの二酸化炭素を蓄えていると推定されています。 林野庁

これも 一戸町の得意分野

- 林業によって植林を行い吸収量を増やすことができます。
- 吸収したCO₂はお金に換えることができます(クレジット)。

77

二酸化炭素を減らす計画一戸町地球温暖化対策実行計画【区域施策編】



図 4-2 部門別排出量の推移

一戸町における平成 25（2013）年度（基準年度）の二酸化炭素排出量は **103.6 千 t-CO₂**でしたが、令和 2（2020）年度には **83.7 千 t-CO₂**となっており、減少傾向にあります。部門別推移をみると、家庭部門、業務その他部門、運輸部門、廃棄物分野において減少しているものの、産業部門では製造業が 14.9 千 t-CO₂から 17.5 千 t-CO₂、農林水産業が 3.1 千 t-CO₂から 5.7 千 t-CO₂へ排出量が増加しています。

78

一戸町の削減目標は2030年57%減

温室効果ガス削減目標（中期目標）

令和 12（2030）年度の町内における二酸化炭素排出量について、平成 25（2013）年度比で **57%**（森林吸収量を加味すると **95%**）削減します。

温室効果ガス削減目標（長期目標）

令和 32（2050）年までの
できるだけ早い段階で二酸化炭素排出量実質ゼロを達成し、
カーボンマイナスの実現を目指します。

再生可能エネルギー導入目標

令和 12（2030）年導入目標（電気）： 136,155 MWh/年
令和 12（2030）年導入目標（熱）： 20,526 GJ/年
令和 32（2050）年導入目標（電気）： 476,541 MWh/年
令和 32（2050）年導入目標（熱）： 71,840 GJ/年



図4-6 脱炭素シナリオにおける二酸化炭素排出量の推計

79

適応策

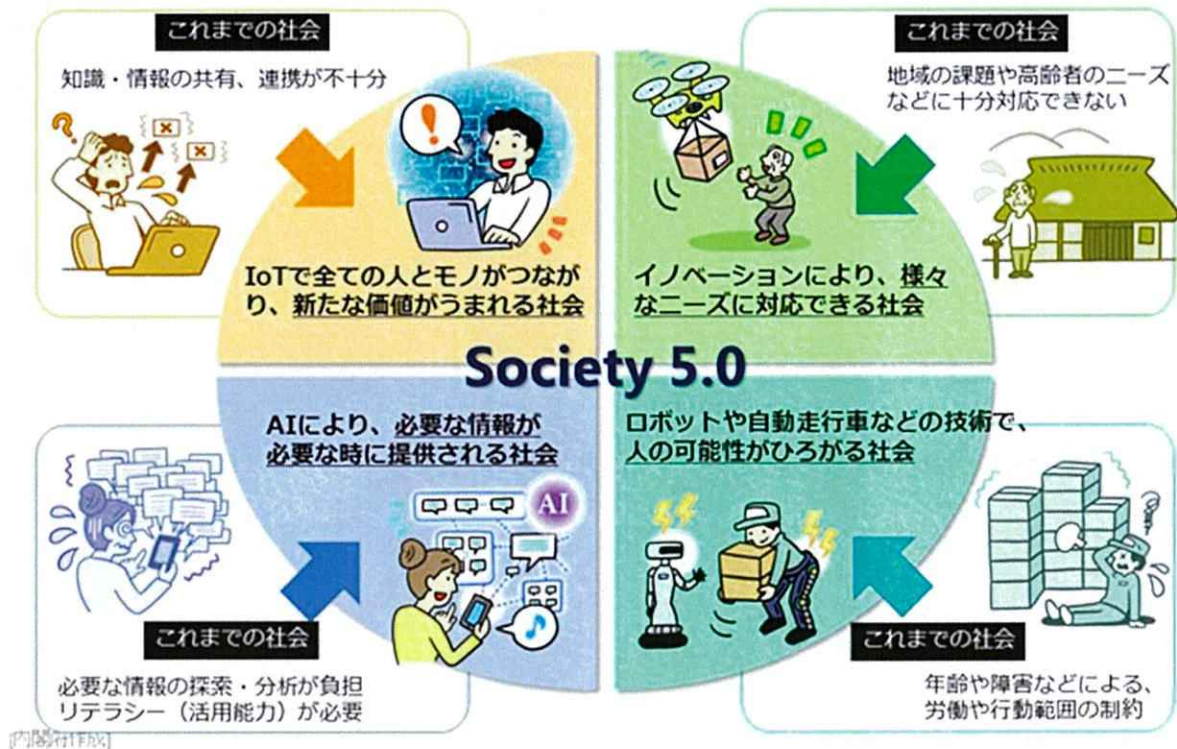


温暖化適応策の一般的な事例

分野	対策
農業	高温耐性品種の育成 共済保険の活用
防災	ハザードマップ・避難計画 治山治水施設の補強
水資源	ダムの運用改善 統合的水資源管理
健康	熱帯感染症ワクチン開発 熱中症警報システム
地域が主役！	

【気候変動対策】で「大切なと思ったこと」「気になったこと」「わからないこと」などをここにメモしてください。

技術の進歩 ソサイエティ5.0



様々な分野で技術革新が行われ、暮らしやすい社会が作られます。

・自動運転、ロボット、ドローン、遠隔医療・・・

81

- ・ 翻訳こんにやく 即時自動翻訳機
- ・ タケコプター ドローンタクシー
- ・ 遠隔治療
- ・ 意思伝達装置
- ・ 教育のデジタル化
- ・ 即時災害予測
- ・ 無人・精密農業
- ・ 農業助手ロボット
- ・ 収穫物自動運搬
- ・ どこでも自動運転
- ・ 構造物自動組み立て
- ・ 人工光合成
- ・ 超小型蓄電池



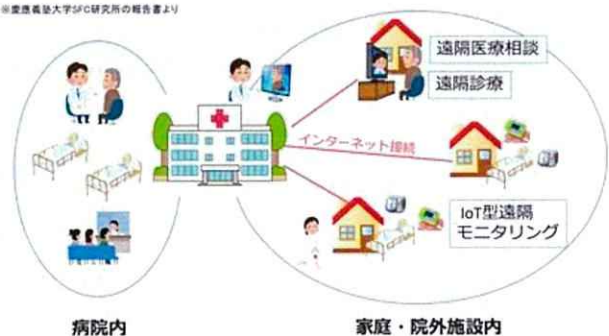
<https://carerobot.kanafuku.jp/search/>



※慶應義塾大学GIC研究所の報告書より



https://www.drone.jp/news/2023070614070769277.html#google_vignette



82

未来の考え方

83

大谷翔平選手の未来の考え方

・目標達成シート

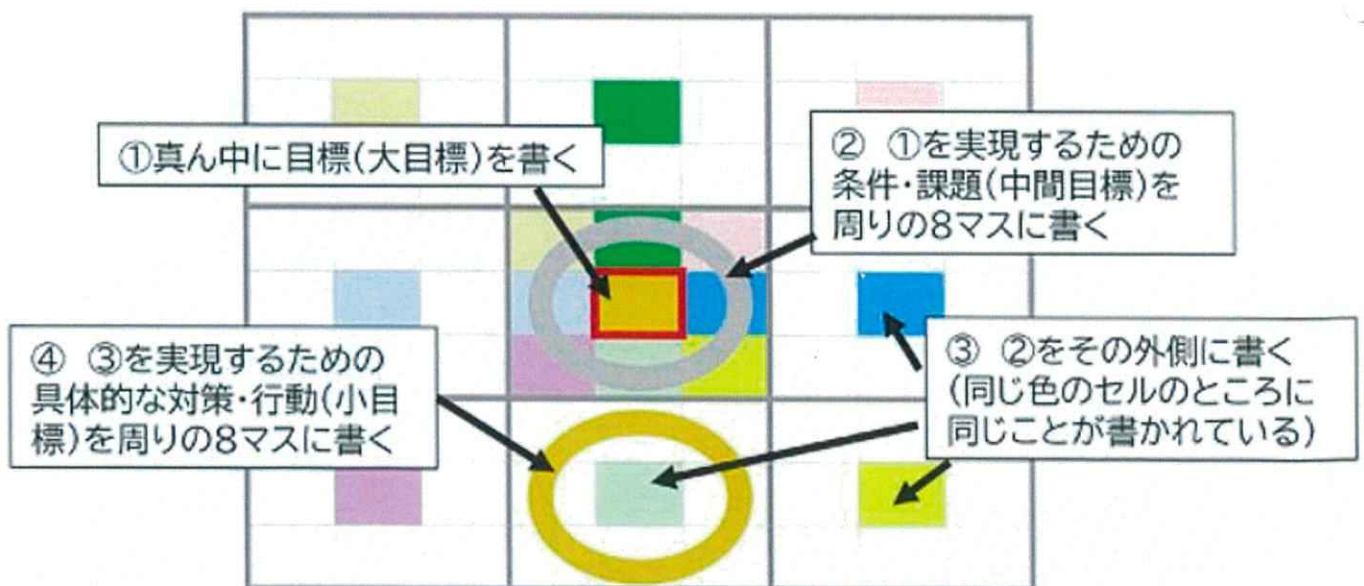


図 目標達成シートの書き方

84